

エンジョイ たなばた

暑さに負けず Enjoy! 七夕



快晴の7月5日(土)、2歳から高校生までの沢谷っ子15名が集まり、連合自治会主催のイベント「Enjoy!七夕」が開催されました。

来館した子ども達は、まず短冊に願い事を書き(個人の願い事から世界平和の願い事まで思い思いに書いていました!)、笹の葉に結びつけました。

続いて、地域伝統の『まき』作りに挑戦。薬草研究会の大草さんから、まきの葉(サ

ルトリイバラ)の効能などの説明を受けた後、ボランティアの皆さんと一緒に団子作りに取りかかりました。毎年恒例行事のため、子ども達の手際もよく、ここ数年の中で最も形の整った仕上がりになりました。

『まき』を蒸している間、ディズニーマのDVD「あの夏のルカ」を鑑賞。敵対していた海の怪物シーモンスターと人間が交流し、協力して仲良くなっていく冒険の物語に、子ども達は熱心に見入っていました。

その後はお楽しみのお菓子ゲットゲーム。水鉄砲での打ち落とし、そこに書かれた番号と引き換えにお菓子を受け取るゲームに歓声が響きました。

さらにサプライズとして、藤間さん(千原)からカブト虫のプレゼントもあり、子ども達はいろいろなお土産を持って帰路につきました。

例年、雨を心配する季節ですが、今年は晴天で、この夜の夜には美しい星も見られました。皆さんの願いが叶いますように!



命と財産を守る気象情報

～防災出前講座を開催～

6月20日(金)、梅雨末期の大雨の季節を前に松江地方気象台による出前講座と連携した防災学習会が連合自治会の主催で開催されました。

この講座は、気象知識の学びから防災意識が普及することを目的としたもので、気象庁が発表する気象用語や防災情報についての解説が行われました。

警報や注意報は、発表から現象の発生までの猶予時間(リードタイム)が考慮されており、特に強い雨ほどリードタイムが短くなるとのこと。また、近年頻発している「線状降水帯」についての説明があり、発表された場合は、災害発生リスクが急激に高まっていることが強調されました。質疑応答では「テレビ局によって天気予報が異なるのはなぜか」「島根県は東部・西部に分けて予報されるが、美郷町はどちらに属するか」などの質問に対し丁寧な回答がありました。

最後に講師は、「自分が住む場所の危険度を認識し、早め早めの避難を心がけることが命を守る鍵である」と語られ、防災意識の重要性を再認識する機会となりました。



出雲古代の歴史と藍染体験

～定期講座 チャレンジ教室～

毎回ジャンルを変えながら学びを深めるチャレンジ教室。7月7日(月)は、出雲大社の近くに位置し、現在は耐震改修工事中のため休館している島根県立古代出雲歴史博物館の出前講座を受講しました。

出前講座は「講座」と「体験」の2部構成となっており、それぞれ複数のメニューから選ぶことができます。今回は、講座に「出雲大社と出雲の神話」、体験には「藍染め」を選択しました。

講座では、『古事記』や『日本書紀』をもとに、大国主命(おおくにぬしのみこと)による国譲り神話や、神在月に集まった神々がどこに宿泊し、どんな話し合いがなされているのかなど、神話の世界の話がありました。

また、現在の出雲大社の社殿の高さは24mですが、伝説によれば96mもあったとされています。その裏付けとして、平成12年の境内で行われた地下工事の際、直径135cmの杉の巨木3本を束ねて1本の御柱としたものが発見され、巨大建造物の伝説が現実であった可能性が示されたという興味深い話も紹介されました。



講演のあとはお待ちかねの藍染体験です。

初めに藍染ハンカチの見本を見ながら説明を受け、無地の白いハンカチに模様を入れた位置にチャコペンで印をつけました。次にその印に沿って、割りばしやビー玉を輪ゴムでしっかりと縛っていきまします。使う道具や輪ゴムの巻き方など、わずかな加減の違いで仕上がりに大きな差がでるとのこと。ちょうどこの日は七夕。「ななつ星にする!」という方や、縛っていたら印どおりにいかず「もういいや、適当で!」と笑って作業する方もおられました。

下準備が終わるといよいよ藍染液に投入です。藍が全体に染みるようハンカチを浸し広げてみると、上げた直後の緑色がみるみるうちに美しい藍色に変化していきまします。さらにもう一度しっかりと染めてから輪ゴムを外し乾かすと「あくキレイ」「わあ、良いねえ。ステキ!」と完成したそれぞれの作品に称賛の声が飛び交いました。

暑さ厳しい日でしたが、素晴らしい出来栄に大満足で体験を終えました。



ほのぼのサロン 〜和紙の風鈴づくり〜

6月の「ほのぼのサロン」は26日(木)にボランティアを含む17名が参加し、梅木公民館主事の指導で『和紙の風鈴』づくりを楽しみました。作業は小さなゴム風船を紙コップに乗せ、その上に細かく切った和紙を糊で貼り付けるところから始まります。最初は手や指に糊や和紙が付き、思うように貼れず苦戦していましたが、次第に慣れて、二重三重と丁寧に重ねていきました。最終的には、カラー和紙を使って、紫陽花やスイカなど夏をイメージした清涼感ある形に仕上げられました。

この日は風鈴の外側部分までで作業を終了。乾燥後に職員が鈴と短冊を取り付けて完成となりました。



サロンの翌日には中国地方にこれまでで最も早い梅雨明けが発表され、以降、連日猛暑が続いています。手づくりの風鈴が、皆さんのご家庭に涼しい音色を届けていることでしょう。



ホールインワンに 響く歓声

連合自治会主催のグラウンドゴルフ大会が6月22日(日)、17名の参加で開催されました。

当日の天気は雨の予報。途中での中止も覚悟で開始しましたが、時々日差しも出る空模様となり、予定した2ラウンドを終えることができました。コースにはやや雑草が茂り、芝も伸びてコンディションは万全とはいえませんでした。しかし、それにもかかわらず4人がホールインワンを達成するなど盛り上がった大会となりました。

男女各上位者とホールインワン者に賞品が授与された閉会式の後、かき氷で健闘した体をクールダウンさせて解散しました。



みどりの風 詩のコーナ

だいち

だいちのうえに くさがはえ
だいちのうえに はながさき
だいちのうえに きはしげり
だいちのうえに あめはふる

だいちのうえを うまはかけ
だいちのうえを とりはとび
だいちのうえを へびはい
だいちのうえを かぜはふく

だいちのうえに ひとはたち
だいちのうえに たねをまき
だいちのうえに いえをたて
だいちのうえの つかのまに

だいちのうえで あいしあい
だいちのうえで にくみあい
だいちのうえで たたかつて
だいちのうえで しんでゆく

詩の風景 すき

作者 谷川俊太郎

発行者 齋藤廣達

発行所 株式会社理論社

お知らせコーナー（公民館・交流センター・連合自治会 等から）

◆『熱中症警戒アラート期間の施設開放』（公民館から）

町から沢谷公民館がクーリングシェルター（暑熱避難所）として指定されました。熱中症アラートが発表された期間、暑さからの避難所として利用が可能です。ただし、自宅にエアコン設備があるなど涼しい環境が確保できる場合は、無理に移動の必要はありません。利用にあたっては、予約などは不要ですが次のことにご留意ください。

○館の行事や留守にしている場合などがありますので、事前にお問い合わせください。

○水分補給のための水やお茶はご持参ください。

◆『全国高校総体（インターハイ）カヌー競技大会開催』（連合自治会から）

8月1日(金)から5日(火)までの間、美郷町信喜の「カヌーレ IMA I」において全国高校総体（インターハイ）カヌー競技が開催されます。

カヌーに青春をかける全国の高校生が、日頃の練習の成果を発揮する大会です。

ぜひ関心をお寄せいただき、会場内外から温かい声援をお送りください。

★行事予定（7/22～8/31）

行 事	日 時	会 場
陶芸教室（公民館定期講座）	7/22(火) 9:30～	多目的室
沢谷地区社協役員会	23(水) 19:00～	多目的室
ほのぼのサロン	24(木) 9:30～	多目的室・調理室
ニコニコ健康教室	25(金) 9:30～	和室
夏のクラフトと星空観察(全公民館合同イベント)	25(金) 17:45～	みさと館・サヒメル
シャワークライミング	26(土) 9:30～	全館
交流センター環境美化（3・4区）	27(日) 7:00～	広場・グラウンド
スポーツ吹矢教室（公民館定期講座）	29(火) 9:30～	体育館
健康診断結果報告会	29(火) 13:00～	多目的室
集まれ！沢谷っ子 夏を楽しもう！	30(水) 10:00～	全館
ニコニコ健康教室	8/1・22(金) 9:30～	和室
青パト隊一斉パトロール	1(金) 18:30～	駐車場から
シャワークライミング	3(日)・9(土) 9:30～	全館
チャレンジ教室（公民館定期講座）	4(月) 10:00～	多目的室
集まれ！沢谷っ子 夏を楽しもう！	6(水) 10:00～	潮公民館へ
自治会輸送バス	7(木) 8:40～	（沢谷～飯南町）
美郷・己斐子ども交流	20(水) 11:00～	全館
ほのぼのサロン	28(木) 9:30～	多目的室・調理室

沢谷地域の人口と世帯数（6月末時点の住民基本台帳数値） ※（ ）内は前月比増減
人口438（－2）〔男性218人（－2）・女性220人（±0）〕 世帯205世帯（－2）